

試合番号 : 146	試合会場 : サントリー箕面トレーニングセンター体育館	観客数 : 272			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:42	試合時間 : 02:42			
主審 : 城 智人	副審 : 岡田 崇				
サントリーサンパーズ	通算 8勝 2敗 ポイント : 23	28 第1セット 26	ジェイテクトSTINGS	通算 7勝 3敗 ポイント : 18	
監督コメント ホームゲームでのたくさんのご声援ありがとうございました。2日目のフルセットは惜しくもジェイテクトの粘りに負けましたと思います。しかし、選手たちは2日間ともサンパーズらしい姿を始終見せてくれました。このことは誇りに思います。試合は1週空きますので、もう一度チームの課題の修正点を見定め、準備していきたいと思っています。サンパーズは1戦1戦成長していきます。今後もサンパーズに熱いご声援よろしくお願いいたします。	2	25 第2セット 23	3	監督コメント 昨日の試合に引き続きお互いに譲らない展開となりましたが、勝ち切ることができ、今後につながる試合になったと思います。次の試合は2週間後となりますが、コンディション調整やこれまでに出来ている課題を少しずつ克服していき、さらにチーム力をあげて臨めるよう準備してまいります。箕面大会2日間応援ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。	
		22 第3セット 25			
		24 第4セット 26			
		19 第5セット 21			
要約レポート 昨日、フルセットの熱戦を制して首位を維持するサントリーサンパーズと、1つ多く勝ち星を積み上げたいジェイテクトSTINGSの一戦。サントリーは昨日の試合で負傷した大宅に代わり西田を起用。両チームともリードを譲らず得点を重ねるも、サントリーが2セットを先取る。第3セット序盤、サントリーは柳田のアタックや藤中のサービスエースなどでリードするが、ジェイテクトは鏡の連攻が次々と決まり、じわじわと追い上げる。1点差でセカンドテクニカルタイムアウトを折り返し、フェリペのアタックや西田のサービスエースでリズムに乗ったジェイテクトが中盤以降に3連続得点をあげ、そのままセットを取り返す。第4セット、サントリーが藤中、柳田、ムセルスキーを中心に得点を重ねると、ジェイテクトも西田にトスを集め、終盤まで競り合う。最後はサントリーのチャレンジ成功に対してジェイテクトが更にチャレンジを要求し、結果は成功。ジェイテクトがセットを連取した。第5セット、ジェイテクトは西田に、サントリーはムセルスキーにボールを集めたが、最後は粘りをみせるジェイテクトが勝利を手にした。					

試合番号 : 147	試合会場 : パナソニックアリーナ	観客数 : 896			
開始時間 : 14:00	終了時間 : 16:15	試合時間 : 02:15			
主審 : 江下 毅	副審 : 山本 和良				
パナソニックパンサーズ	通算 8勝 2敗 ポイント : 23	25 第1セット 21	堺プレイヤーズ	通算 5勝 5敗 ポイント : 16	
監督コメント 昨日と同じく堺プレイヤーズは良いプレーをしており、我々が普段しないミスをしてしまい、波に乗れませんでした。勝たない気持ちをしっかりと持っていたので、とても大事な試合に勝ったと思います。会場まで応援に来てくださった皆様、本当にありがとうございます。また、来年のホームゲームもよろしくお願いいたします。	3	23 第2セット 25	2	監督コメント 非常にタフなゲームとなりました。勝つチャンスは充分にあったが、もっと安定したプレーが必要だと思います。ジョンのスパイクやミドルブロッカーははとでも良かったが、少しのミスが勝敗を分けたように思います。最後まで勝利を信じて応援してくださったサポーターの皆様、本当にありがとうございます。また応援よろしくお願いいたします。	
		16 第3セット 25			
		25 第4セット 17			
		15 第5セット 13			
要約レポート 2週連続の大阪ダービーは、フルセットの白熱した試合となった。第1セット、パナソニックパンサーズは清水のサービスエース、山内のスパイクでリードするが、堺プレイヤーズは松本、ジョンのアタックで追いつき接戦となる。終盤、パナソニックは山内のブロック大竹の攻撃で抜け出しセットを先取した。第2セット、拮抗した展開が続いたが、終盤で松本、出木田のアタックで抜け出し堺が取り返す。第3セット、堺は第2セットの勢いそのままに松本、ジョンの連続ブロックポイントで抜け出し、その後も要所でアタックやブロックが決まり、セットを連取する。第4セット、後がなくなったパナソニックは小宮のブロック、クビアクの攻撃で抜け出し、清水、山内などの多彩な攻撃でセットを取り、最終セットに持ち込んだ。第5セットは最後まで大接戦となった。クビアクのアタック、ブロックが決まり、パナソニックが大接戦を制し、年内最後のホームゲームを白星で飾った。					

試合番号 : 148	試合会場 : 松江市総合体育館	観客数 : 900			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:59	試合時間 : 01:59			
主審 : 國頭 亮太	副審 : 富田 博一				
JTサンダーズ広島	通算 7勝 3敗 ポイント : 21	23 第1セット 25	VC長野トライデンツ	通算 0勝 10敗 ポイント : 2	
監督コメント 本日もたくさんのご声援ありがとうございました。交代した選手が役割をしっかりと果たしたうえで、全員で勝ち切った試合だと思います。まだ厳しい戦いは続きますが、今日の勝ちをきっかけにさらにレベルアップしていきたいと思っています。	3	25 第2セット 17	1	監督コメント 良い部分と弱い部分をはっきりと出た試合でした。JT広島の勝負強さに負けてしまいました。勝負所でのメンタルやスキルをもっと身につけ、諦めず勝ちにいきたいと思います。本日も熱い応援ありがとうございました。	
		25 第3セット 15			
		29 第4セット 27			
		第5セット			
要約レポート 第1セット、VC長野トライデンツは中村の連続ブロックで10-8とリードするが、JTサンダーズ広島は西、山本が連続でスパイクを決め15-13と逆転する。終盤、VC長野はリヴァンのサービスエースで19-18と再び逆転する。JT広島は西のスパイクで追いつくが、最後は戸がスパイクを決め、VC長野がセットを先取した。第2セット、JT広島は流れを変えようとして金子を投入。序盤はサイドアウトの応酬となったが、8-8の同点からJT広島は陳がバックアタックを決める等、5連続で得点し13-8とする。VC長野はリヴァンが3連続でスパイクを決め16-16の同点に追いつくが、JT広島は18-17から小野寺のブロックや深津のサービスエース等、7連続得点でこのセットを奪い返した。第3セット、JT広島は山本と陳が連続でスパイクを決め7-3とすると、その後も西と深津が連続でブロックを決め、試合の主導権を握る。VC長野も中盤、森崎や戸のスパイク、リヴァンのサービスエース等で応戦するが、終盤、JT広島は山本が効果的に得点を重ね、セットを連取した。第4セット、JT広島は陳の連続スパイク等で12-9とリードするが、VC長野は矢貫の連続サービスエースで15-14と逆転に成功。中盤、JT広島は金子のバックアタックやブロックで19-16と再度逆転するも、VC長野は河東のサービスエースなどで6連続得点をあげて24-21と先にセットポイントを握る。しかし、JT広島は山本が攻めたサーブでVC長野のサーブレシーブを崩し、陳のスパイクでデュースに持ち込んだ。最後は陳がサービスエースを決め、JT広島がホームゲームを連勝で飾った。					

試合番号 : 149	試合会場 : 墨田区総合体育館	観客数 : 760			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:26	試合時間 : 02:26			
主審 : 林 淳一	副審 : 村中 伸				
FC東京	通算 2勝 8敗 ポイント : 8	25 第1セット 23	ウルフドッグス名古屋	通算 8勝 2敗 ポイント : 23	
監督コメント 2日間すばらしい環境の中でホームゲームでプレーでき感謝しております。負けはしましたが、次につながる試合だったと思います。来週は試合がありませんが、成長の期間に充てられるよう、しっかりと取り組みます。2日間すばらしい応援ありがとうございました。	2	22 第2セット 25	3	監督コメント 2日間同じ対戦カードで、相手も昨日の試合と違ったことをしてきたために非常に難しい試合となりました。昨日の試合で出た我々の課題に対して、改善できたところがあったと思います。来週は試合がなく、11月28日、29日にホームアリーナであるエントリオ(豊田合成記念体育館)でのホームゲームとなります。これまでの試合から学んだこと、チームが成長するための課題を改善して、しっかりと準備していきます。サポーターの皆様と共に闘っていきたく思いますので、これからも我々の後押しをよろしくお願いいたします。	
		20 第3セット 25			
		25 第4セット 21			
		19 第5セット 21			
要約レポート ホームゲームで3勝目を飾りたいFC東京と、7連勝と好調のウルフドッグス名古屋の対戦。第1セット、FC東京は序盤、佐藤の連続サービスエースから波に乗ると、迫田や栗山のアタックなどでリードする。中盤、WD名古屋が前田のブロック、クレクのサービスエースで追いつくと、そこから互いに譲らぬ展開となるが、FC東京はブレモビッチの連続ブロックで振り切り、セットを先取る。第2セット、序盤は一進一退の攻防の中、FC東京が平田のサービスエースで抜け出す。中盤、FC東京は栗山のアタック、ブレモビッチのサービスエースが効果的に決まりリードを守るが、WD名古屋は山田、クレクがスパイクを決め追いつけると、高梨のアタックとブロックの連続得点で逆転する。FC東京は長友のサービスエースなどで粘るも、近のブロックや山近のアタックなどで着実に点数を上げたWD名古屋がセットを取り返す。第3セット、満員の観客が盛り上がる熱戦の中、FC東京はブレモビッチがアタックやブロックで活躍し、クレク中心に攻めるWD名古屋に挑戦するが、流れを引き寄せることができず、WD名古屋がセットを連取する。第4セット、後がないFC東京は序盤に手原がブロックを決めて点差を広げ、波に乗る。流れを変えたいWD名古屋は中盤に近、高梨が連続でブロックを決めて迫るが、FC東京は栗山がアタックで3連続得点しリードを守ってこのセットを取り、フルセットに持ち込んだ。					

試合番号 : 150		試合会場 : 墨田区総合体育館				観客数 : 650						
開始時間 : 16:15		終了時間 : 17:34		試合時間 : 01:19		主審 : 山本 晋五		副審 : 高橋 宏明				
東レアローズ		通算	5勝	5敗	25	第1セット	22	大分三好ヴァイセアドラー		通算	0勝	10敗
			ポイント:	14	25	第2セット	19				ポイント:	2
監督コメント	<p>大分三好のサイド陣を抑えることができたので、勝利に結びついたと思います。試合の中でコンミスが多く、精度が低い場面もみられたので、修正していく必要があります。 1週間空くので、しっかりと準備して、次の戦いに臨んでいきます。 2日間たくさん応援ありがとうございました。</p>				3		0	<p>東しの攻撃に対してブロックを絞り切れず、苦しい展開となりました。第2セットからはメンバーを代えて挑みましたが、終盤に相手ブロックに捕まり、ストレートでの敗戦となりました。 サーブが機能している時は良い展開を作れているので、次戦に向けて修正し挑みたいと思います。 本日は応援ありがとうございました。</p>				
<p>先週に引き続き連勝して波に乗りたい東レアローズと、なんとしても初勝利をあげたい大分三好ヴァイセアドラーの対戦。 第1セット、中盤に東しはバダルのアタック、星野のブロックで一進一退の攻防から一歩抜け出す。対する大分三好は要所でバグナスや勝がアタックやブロックを決めて追撃する。終盤、高橋のブロックで波に乗った東しが粘る大分三好を振り切り、セットを先取る。 第2セット、セットを取り返したい大分三好はスタートから高松を起用、響き渡る声と懸命なレシーブでチームを盛り立てる。しかし、東しは自分たちのペースを崩さず、富田のアタックなどで点数を重ねて優位に立つ。中盤、林とバグナスの連続ブロックで追いついた大分三好に対し、東しは終盤に藤井のブロックや高橋、バダルのアタックで再び突き放すと、そのままセットを連取した。 第3セット、後がない大分三好は第2セットに引き続き、セッターに井口を起用する。なかなか攻撃が決まらず苦しむが、高松が気迫の籠ったアタックをコートに打ち込む、それに応えるようにバグナスやストックンもアタックを決め、林、高松のアタック、川口のブロックによる得点で、リードを守っていた東しをようやく捕らえる。しかし、東しは絶対調の高橋のサービスエース、李のアタック、星野のブロックなどを次々と決めて突き放し、このセットも取りストレートで勝利した。</p>												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :					
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :			
		通算	-勝	-敗		第1セット			通算	-勝	-敗
			ポイント:	-						ポイント:	-
監督コメント											
要約レポート											

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :					
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :			
		通算	-勝	-敗		第1セット			通算	-勝	-敗
			ポイント:	-						ポイント:	-
監督コメント											
要約レポート											

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :					
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :			
		通算	-勝	-敗		第1セット			通算	-勝	-敗
			ポイント:	-						ポイント:	-
監督コメント											
要約レポート											